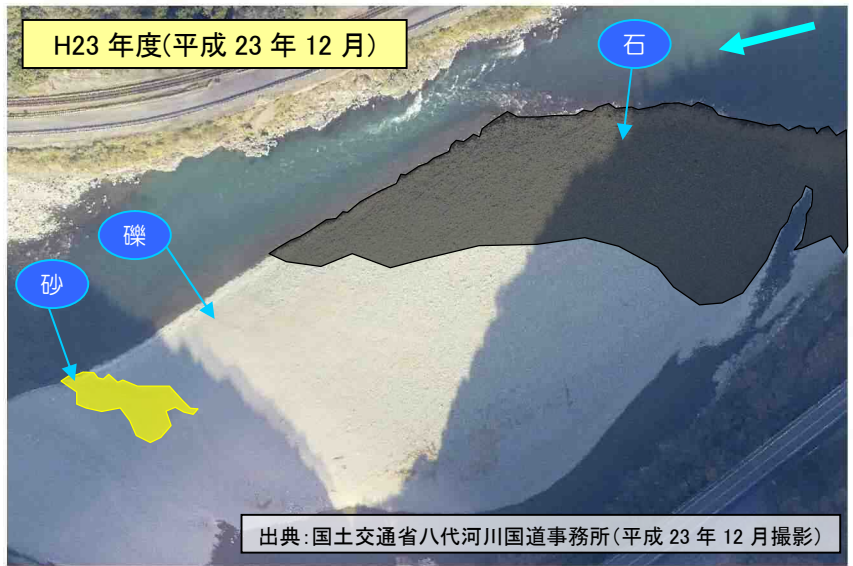


(3) リーチスケール項目
1) 下代瀬採餌場産卵場環境

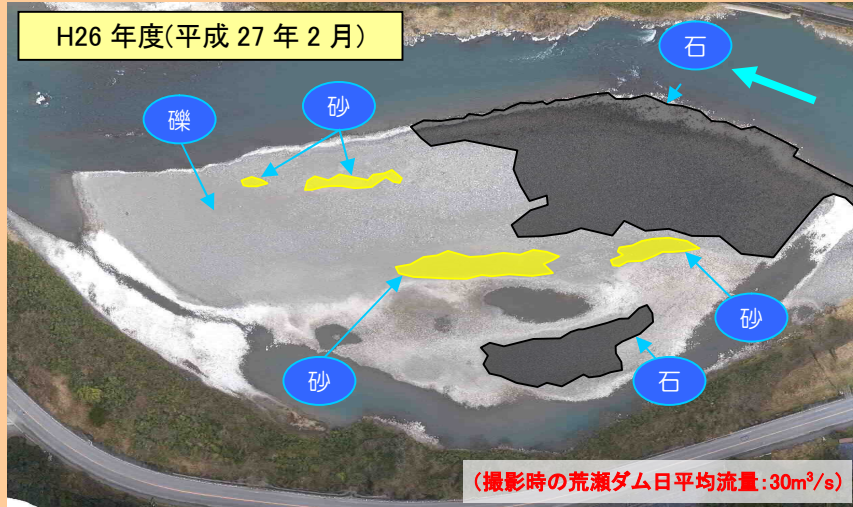
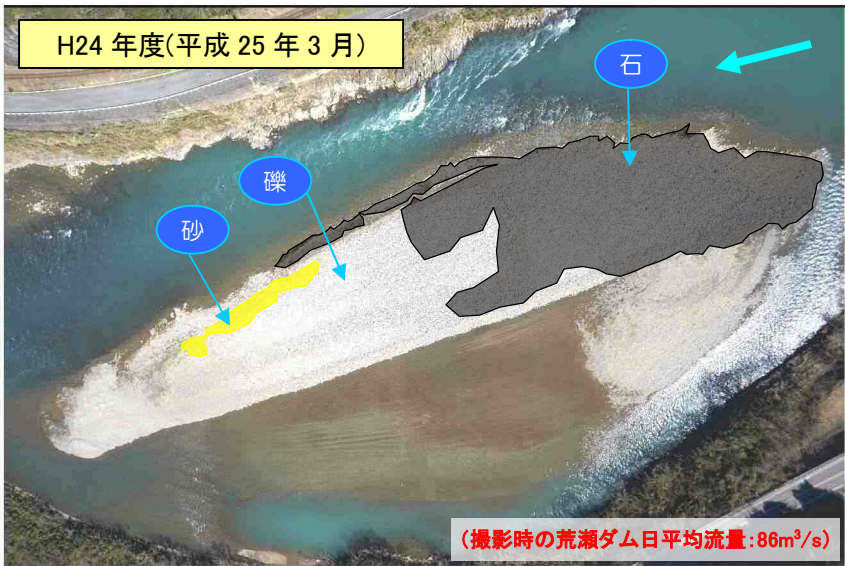
【参考資料 I -242 参照】

1. 河川形状と粒径

- ・河川形状は、H24 年度冬季の維持掘削により縮小したが H25 年度には左岸で砂州が形成され、H26 年度は州の面積が拡大した。H27 年度も維持掘削が行われ、州の掘削及び中央部に流路が形成された。平成 28、29 年度は水路が埋まる等、州の堆積が進行している。
- ・これまで粒径は、上流側が石、下流側が礫、下流側の一部が砂という分布をしていたが、維持掘削により形状や粒径が変化し、現在は、概ね州全体に礫が分布している。



維持掘削実施

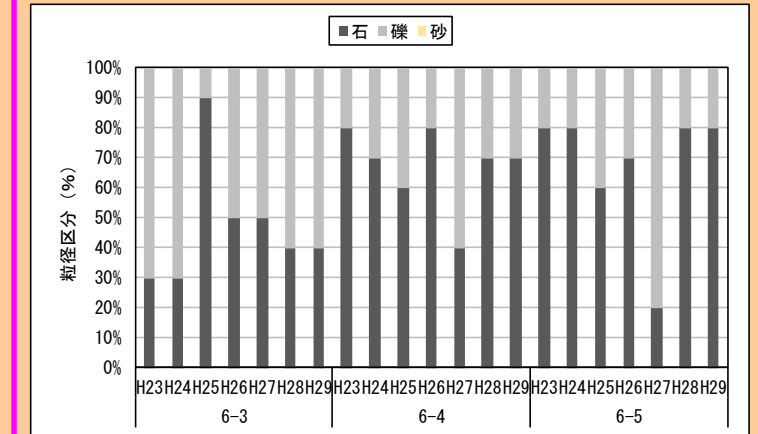
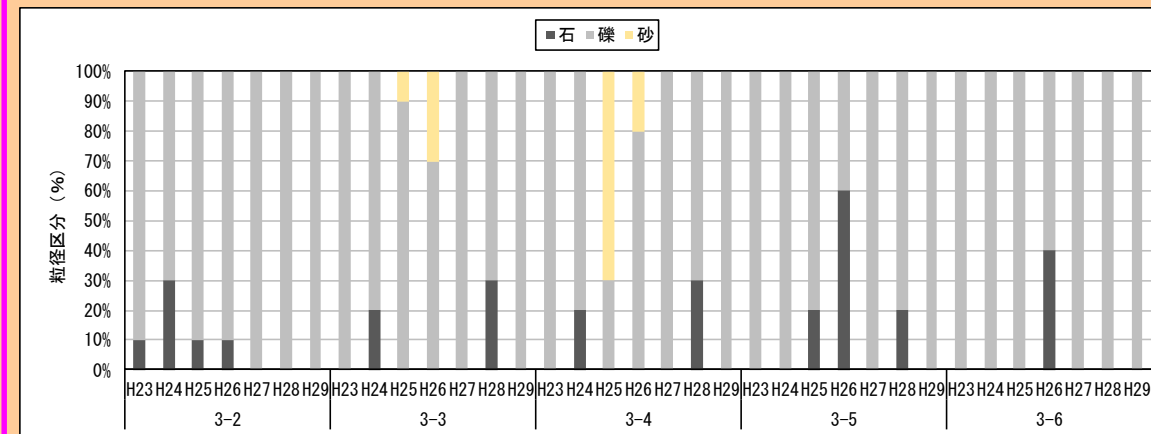
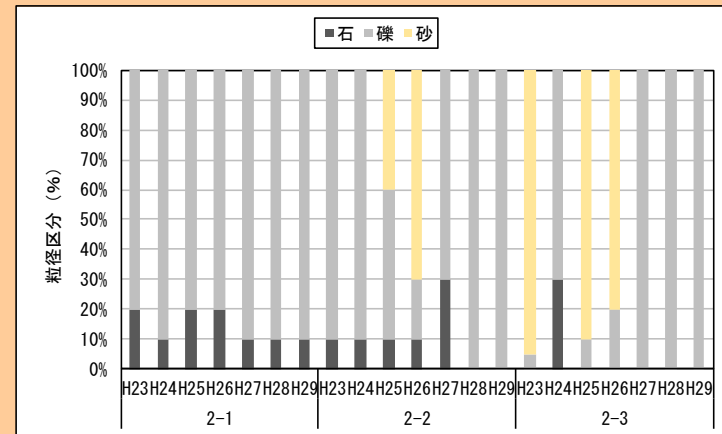


維持掘削実施

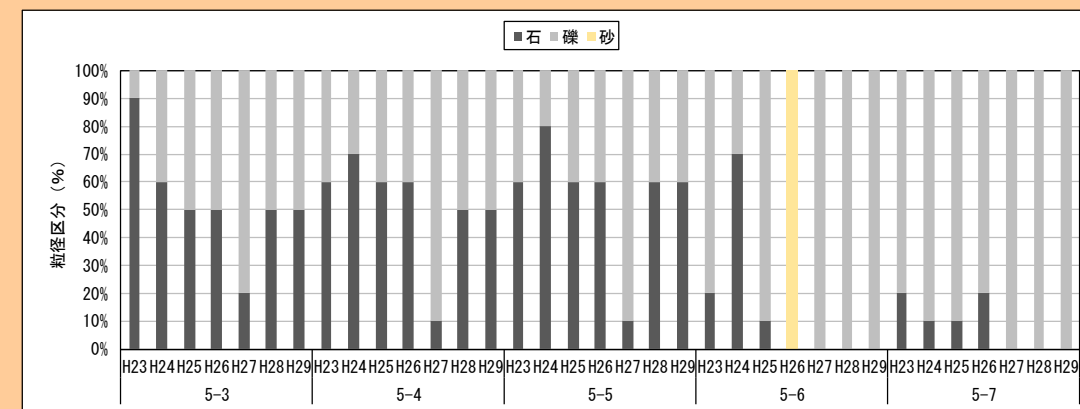
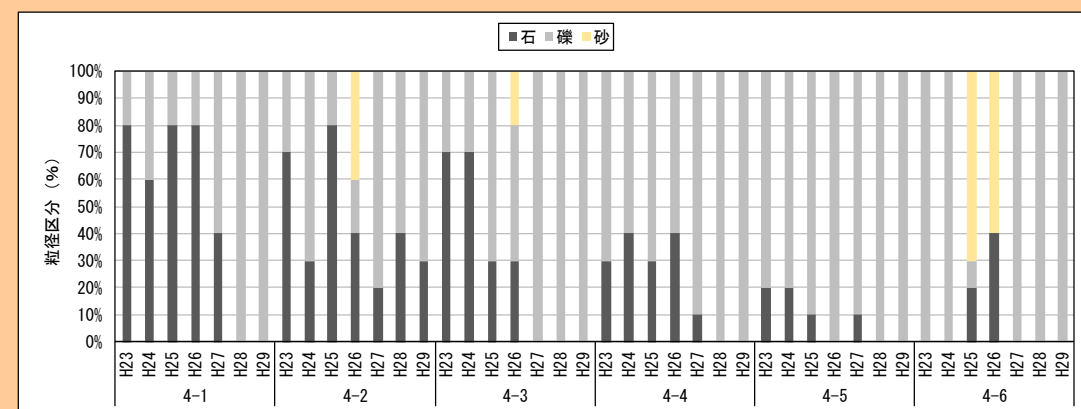
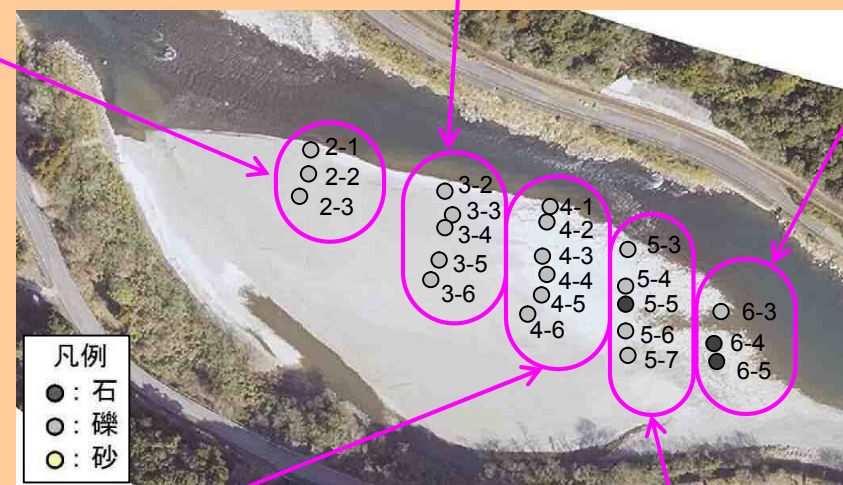


2. コドラート内の粒度構成

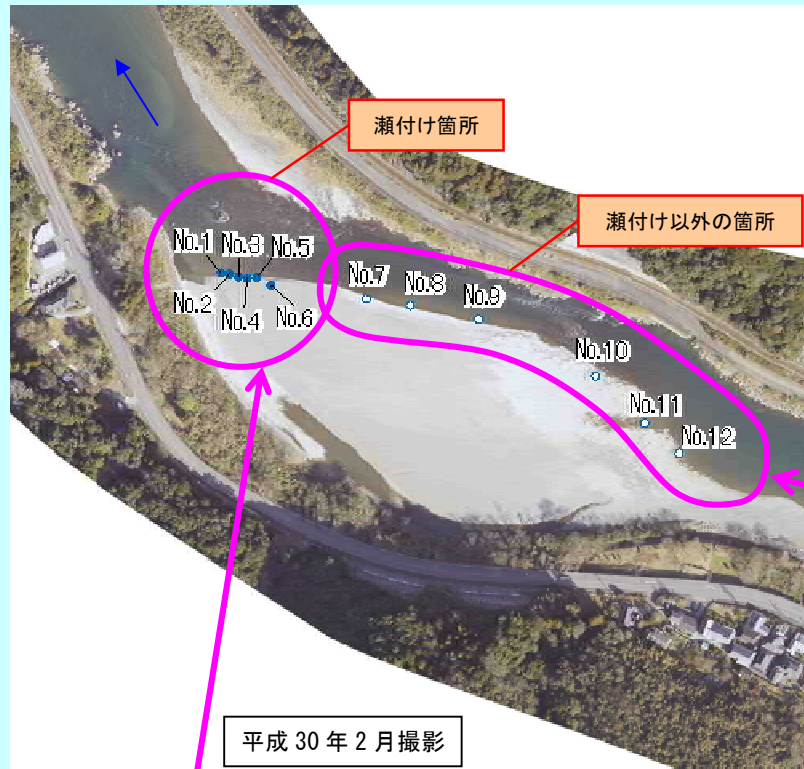
・H28 年度と同様に州の全域で概ね礫が優占して分布している。



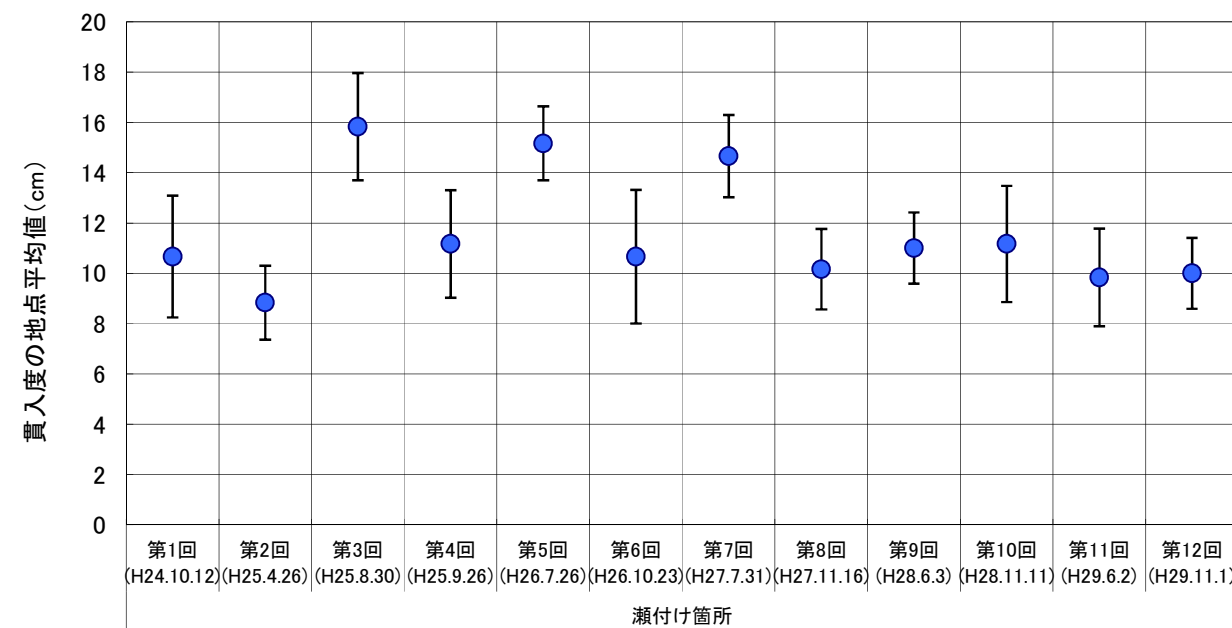
H29 年度(平成 30 年 2 月)



3. アユの産卵場環境（貫入度）

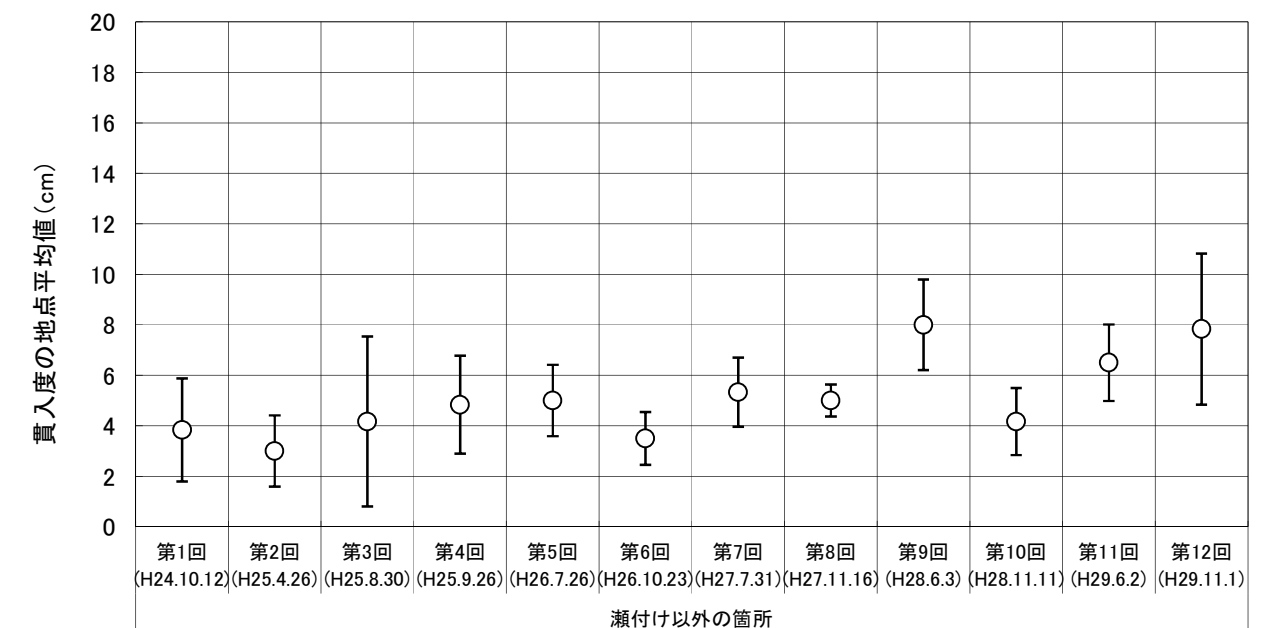


- ・H29 年度の数值は、瀬付け箇所の方が瀬付け以外の箇所よりも高かった。すなわち、瀬付け箇所は 8～12cm(平均値は 10.0cm)であるのに対して、瀬付け以外の箇所は 4～12cm(平均値は 7.8cm)であった。これは、既往調査結果と同様の傾向であった。
- ・瀬付け箇所において、貫入度が低くなっている傾向はみられていないことから、ダム撤去による土砂等の影響は少なかったものと考えられた。



【瀬付け箇所】 [単位:cm]

No.	第1回 (H24.10.12)	第2回 (H25.4.26)	第3回 (H25.8.30)	第4回 (H25.9.26)	第5回 (H26.7.26)	第6回 (H26.10.23)	第7回 (H27.7.31)	第8回 (H27.11.16)	第9回 (H28.6.3)	第10回 (H28.11.11)	第11回 (H29.6.2)	第12回 (H29.11.1)
1	14	11	14	11	16	8	13	9	10	15	11	8
2	9	9	17	10	17	7	15	10	9	11	10	12
3	11	7	15	10	14	11	14	11	11	10	7	10
4	7	8	18	9	16	12	13	9	11	8	11	10
5	12	8	13	12	13	12	17	9	13	12	12	9
6	11	10	18	15	15	14	16	13	12	11	8	11
平均	10.7	8.8	15.8	11.2	15.2	10.7	14.7	10.2	11.0	11.2	9.8	10.0
標準偏差	2.4	1.5	2.1	2.1	1.5	2.7	1.6	1.6	1.4	2.3	1.9	1.4

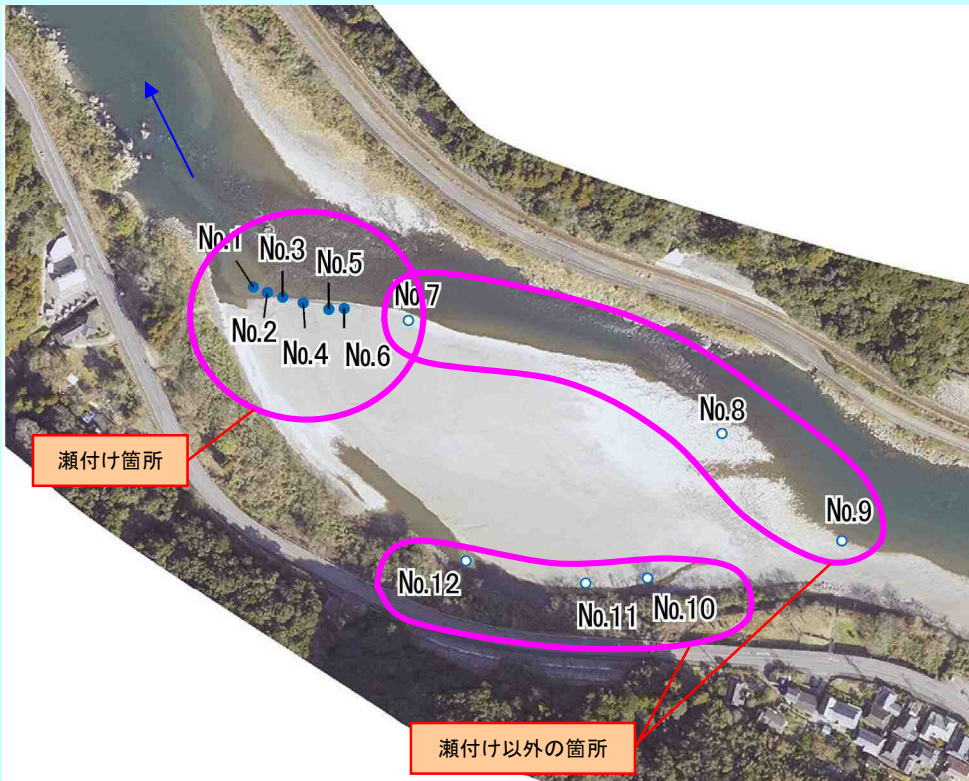


【瀬付け以外の箇所】 [単位:cm]

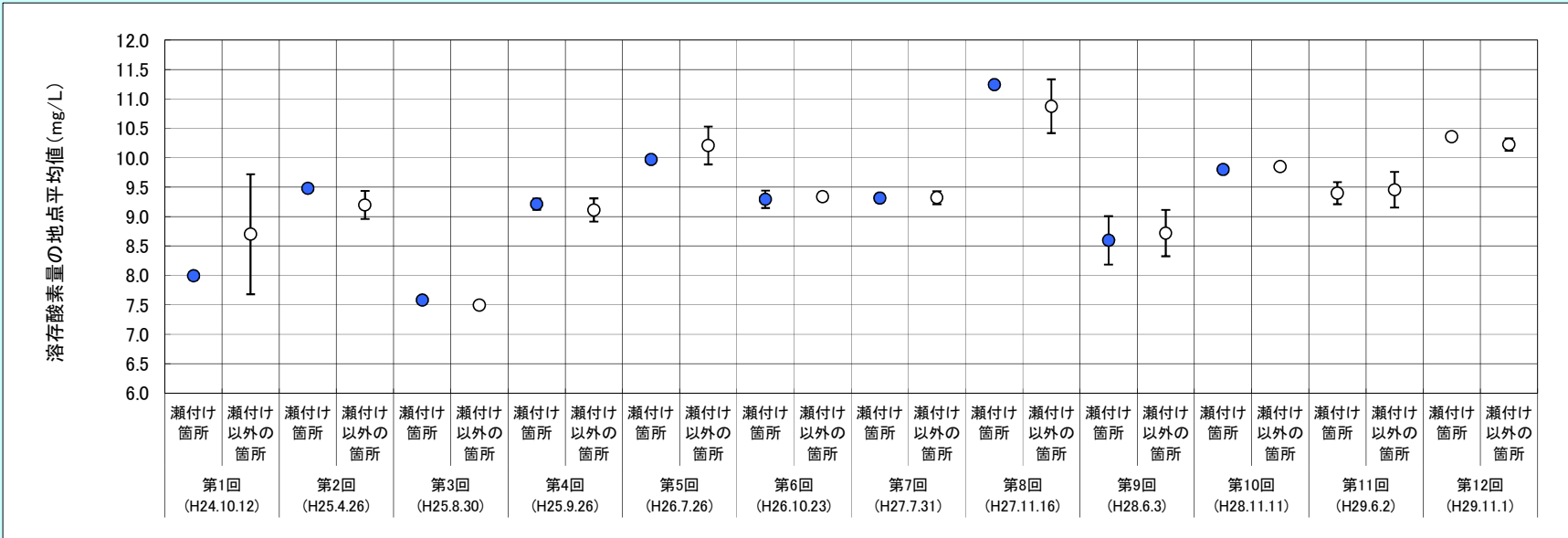
No.	第1回 (H24.10.12)	第2回 (H25.4.26)	第3回 (H25.8.30)	第4回 (H25.9.26)	第5回 (H26.7.26)	第6回 (H26.10.23)	第7回 (H27.7.31)	第8回 (H27.11.16)	第9回 (H28.6.3)	第10回 (H28.11.11)	第11回 (H29.6.2)	第12回 (H29.11.1)
7	7	4	10	8	7	5	7	6	10	6	9	12
8	5	5	6	5	5	4	6	5	7	4	7	10
9	3	3	4	6	5	2	6	5	9	4	7	9
10	1	1	2	3	6	3	5	4	8	5	5	6
11	4	2	1	3	4	3	3	5	9	2	6	6
12	3	3	2	4	3	4	5	5	5	4	5	4
平均	3.8	3.0	4.2	4.8	5.0	3.5	5.3	5.0	8.0	4.2	6.5	7.8
標準偏差	2.0	1.4	3.4	1.9	1.4	1.0	1.4	0.6	1.8	1.3	1.5	3.0

4. アユの産卵場環境（溶存酸素）

- ・H29 年度の数値は、瀬付け箇所の方と瀬付け以外の箇所で差異は見られなかった（瀬付け箇所（平均値）：10.36mg/L、瀬付け以外の箇所（平均値）：10.22 mg/L）。これは、既往調査結果と同様の傾向であった。
- ・調査結果の傾向に大きな変化はみられないことから、ダム撤去による土砂等の影響は少なかったものと考えられた。
- ・貫入度、溶存酸素量の観点より、ダム撤去によるアユの産卵場への影響は少なかったものと考えられたことを踏まえ、産卵場環境調査は H29 年度調査をもって完了することとした。



平成 30 年 2 月撮影

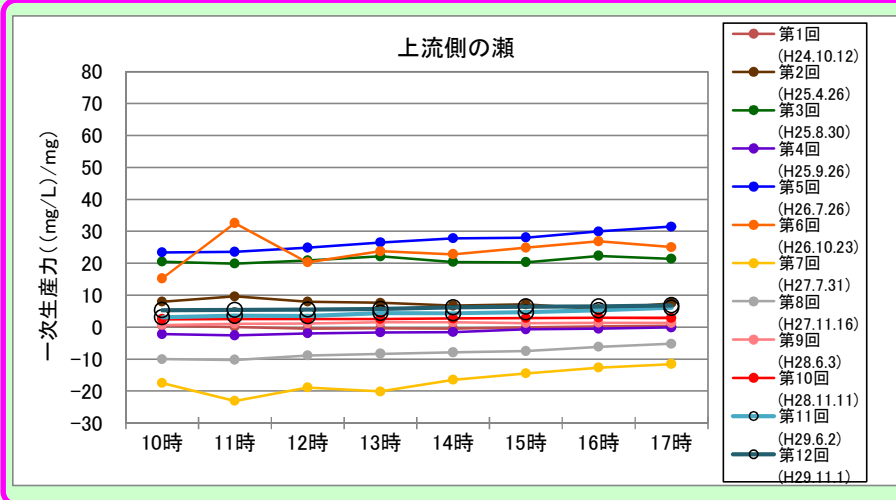
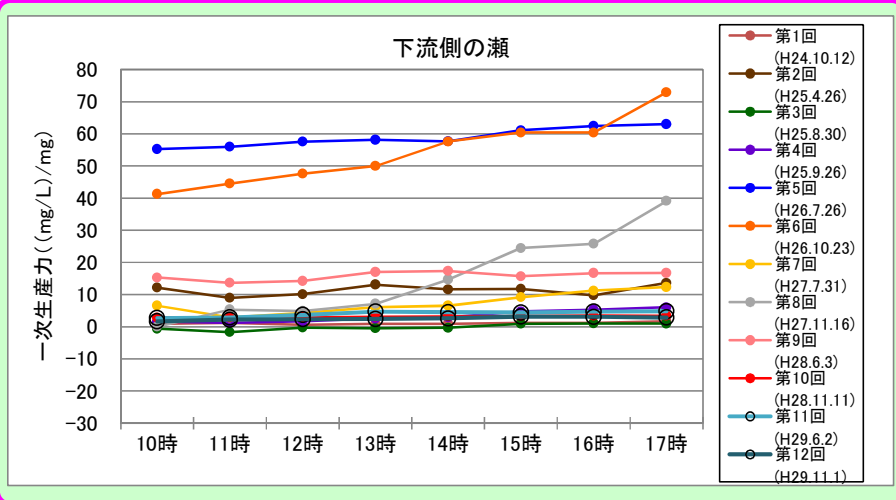
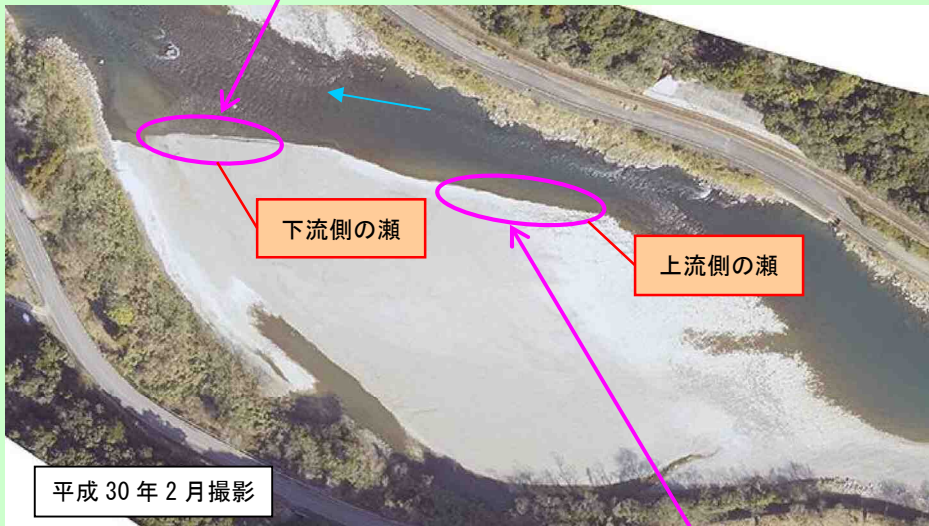


溶存酸素量																								[単位:mg/L]
No.	第1回 (H24.10.12)		第2回 (H25.4.26)		第3回 (H25.8.30)		第4回 (H25.9.26)		第5回 (H26.7.26)		第6回 (H26.10.23)		第7回 (H27.7.31)		第8回 (H27.11.16)		第9回 (H28.6.3)		第10回 (H28.11.11)		第11回 (H29.6.2)		第12回 (H29.11.1)	
	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所	瀬付け 箇所	瀬付け 以外の 箇所
1	7.88	8.03	9.41	9.43	7.58	7.56	9.37	9.15	10.01	9.96	9.56	9.24	9.45	9.25	11.23	11.26	9.25	8.55	9.79	9.88	9.74	9.16	10.42	10.30
2	8.03	7.95	9.43	9.43	7.69	7.52	9.26	9.22	9.98	10.01	9.19	9.38	9.29	9.31	11.29	11.28	8.29	8.63	9.72	9.81	9.32	9.62	10.34	10.31
3	7.98	7.98	9.48	9.37	7.55	7.55	9.19	9.43	9.96	9.98	9.17	9.29	9.31	9.14	11.24	11.32	8.24	8.43	9.81	9.85	9.31	9.40	10.31	10.34
4	8.00	8.42	9.54	8.90	7.58	7.48	9.12	9.00	9.99	10.81	9.36	9.32	9.34	9.40	11.21	10.36	8.70	8.68	9.86	9.83	9.28	9.88	10.37	10.18
5	8.06	10.49	9.51	9.00	7.57	7.39	9.12	8.88	9.96	10.26	9.21	9.37	9.25	9.40	11.24	10.46	8.85	9.50	9.79	9.85	9.25	9.08	10.36	10.13
6	8.02	9.33	9.52	9.05	7.51	7.48	9.21	8.99	9.95	10.25	9.27	9.43	9.25	9.43	11.26	10.56	8.25	8.53	9.85	9.86	9.50	9.60	10.34	10.08
平均	8.00	8.70	9.48	9.20	7.58	7.50	9.21	9.11	9.97	10.21	9.29	9.34	9.32	9.32	11.25	10.87	8.60	8.72	9.80	9.85	9.40	9.46	10.36	10.22
標準偏差	0.06	1.02	0.05	0.24	0.06	0.06	0.09	0.20	0.02	0.32	0.15	0.07	0.07	0.11	0.03	0.46	0.41	0.39	0.05	0.02	0.19	0.30	0.04	0.11

5. アユの餌場環境（一次生産）

- ・H29 年度の数値は、下流側及び上流側ともに既往調査結果の範囲内であった。
- ・ダムの上流側、下流側で調査結果の傾向に大きな変化はみられないことから、ダム撤去によるアユの餌場環境への影響は少なかったものと考えられた。そのため、アユの餌場環境調査は、H29 年度調査をもって完了することとした。

- ・H29 年度の数値は、下流側及び上流側ともに既往調査結果の範囲内であった。
- ・ダムの上流側、下流側で調査結果の傾向に大きな変化はみられないことから、ダム撤去によるアユの餌場環境への影響は少なかったものと考えられた。そのため、アユの餌場環境調査は、H29 年度調査をもって完了することとした。



【下流側の湖】																																																												
時刻	第1回 (H24.10.12)					第2回 (H25.4.26)					第3回 (H25.8.30)					第4回 (H25.9.26)					第5回 (H25.12.26)					第6回 (H26.10.23)					第7回 (H27.7.31)					第8回 (H27.11.16)					第9回 (H28.6.3)					第10回 (H28.11.1)					第11回 (H29.6.2)					第12回 (H29.11.1)				
	溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa ((mg/L)/mg)																	
	明	暗	明	暗	差	明	暗	明	暗	差	明	暗	明	暗	差	明	暗	明																																										

【上流側の値】																																																												
時刻	第1回 (H24.10.12)					第2回 (H25.4.26)					第3回 (H25.8.30)					第4回 (H25.9.26)					第5回 (H26.7.26)					第6回 (H26.10.23)					第7回 (H27.7.31)					第8回 (H27.11.16)					第9回 (H28.6.3)					第10回 (H28.11.11)					第11回 (H29.6.2)					第12回 (H29.11.1)				
	溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)			溶存酸素量 (mg/L)		溶存酸素量/クロロフィルa (mg/L/mg)																	
	明	暗	明	暗	差	明	暗	明	暗	差	明	暗	明	暗																																														